

令和5年度 第2学年 学年経営案

学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで学び、心身ともにたくましく生きる西原の子どもを育てる。

めざす子ども像

〔やさしく〕

気持ちよいあいさつをする子
自分と友達のよさが分かる子

〔かしこく〕

よく考え、進んで学ぶ子

〔たくましく〕

楽しく運動し、目標をもって体力・
気力の向上に最後までがんばる子

第2学年経営

学年経営目標	家庭との連携、学級相互の連携を図りながら、いつも明るく元気にがんばる子どもを育てる。		
	学年重点目標	1	友達に優しくでき、元気のよい返事やあいさつができる子どもを育てる。
		2	運動することの楽しさを知り、楽しんで体力づくりに取り組む子どもを育てる。
		3	話を最後までしっかり聞き、自分の考えをしっかりと伝える子どもを育てる。
		4	保護者との連携を密にしながら、子どもの健全育成に努める。
学年経営の具体策	I 豊かな心と健やかな体	1	道徳の授業を充実させ、その後に実践できるような手立てを講じる。
		2	係活動や当番活動など、自分の役割を果たすことで、達成感や自己有用感を育む。
		3	計画的に教育相談を行い、相談しやすい雰囲気をつくり、一人一人が楽しく学校生活を送れるようにする。
		4	基本的な生活習慣の定着を図るために、「ハチツボネブ」の徹底や「早寝・早起き・朝ご飯」の定着を家庭と連携して取り組む。
		5	様々な運動遊びを通して、運動する楽しさを味わわせ、体力の向上に努める。
		6	不審者や交通安全に関する指導を行い、自分の身の安全に気をつけるように心がけさせる。
	II 確かな学力と個性の伸長	1	1単位時間の授業を工夫し、子どもたちが積極的に授業に参加できるように努める。
		2	読書指導や家族読書を通して読書に興味をもたせ、進んで本を読む子どもの育成を図る。
		3	家庭学習の定着を図り、進んで学ぶ子どもを育てる。
	III 信頼される学校づくり	1	学級通信や学級PTA等を通して、子どもたちのよさ、学習の様子を知らせるように努める。
		2	子どもの声や保護者からの相談などには、家庭と連携しながら、問題の早期解決ができるように努める。
		3	地域行事等に積極的な参加を促し、地域の人たちにも支えられていることに気付かせる。